

《施設関係者評価》

2024(R6)年度

評価 5...十分達成されている 4...ほぼ達成されている 3...どちらでもない
 2...取り組まれているが成果が十分でない 1...取り組みが不十分である

※○印を記入してください。 **※年齢別の設問は、該当するところのみ記入**してください。

※「園評価」は、園の自己評価を集計した結果です。(項目別に、総計÷人数(18人)で算出)

※二重線の項目は”低評価の低かった項目”を表しています。

評価項目	評価	評価内訳						
		5	4	3	2	1		
目標	園の目標が日常の教育・保育に反映されているか。「たくましい身体づくり」「思いやりのある子ども」「意欲を持つ子ども」「自分で考えて行動できる子ども」	4.3	7人	11人				
説明責任	園に関する様々な情報提供(園便り・口頭説明等)が行われているか。	4.6	13人	4人	1人			
人権尊重	常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み(関わり・配慮)がなされているか。	4.3	6人	12人				
情報保護	個人情報の保護は、適切であったか。	4.7	14人	4人				
地域貢献	地域の行事・会議等への参加、地域家庭の子育て支援、地域や関係機関との関りを十分持てているか。また、学生のボランティア等を積極的に受け入れているか。	4.8	16人	2人				
苦情対応	意見や苦情に対して、適切な対応が出来ているか。	4.4	9人	8人	1人			
保健	乳幼児の病気等の情報提供、日常の健康観察や疾病予防のための取組みがなされているか。	5	18人					
安全	救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか。	4.9	17人	1人				
運営	施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされていたか。	4.5	10人	8人				
環境美化	園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等感じられる工夫がなされているか。	4.6	12人	6人				
保育室	室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されていたか。	4.5	9人	9人				
給食おやつ	栄養が満たされるだけでなく、食べやすさ・彩り・季節感等様々な配慮がなされていたか。また発達・アレルギー等個々の体質に合わせた食事を提供できていたか。	4.8	15人	3人				
食育5歳児	・配膳や準備を楽しみながら自ら行う。・食べ終わりの時間を意識して食べる。・クッキングの準備を子ども同士協力し合い行い、包丁等の道具の取扱いにも慣れる。	4.8	4人	1人				
5歳児	・年間を通して身に付けた生活習慣を様々な場面で発揮できるよう取り組む。・遊びの中で豊かな表現言葉を獲得し、様々な経験を通して仲間とのつながりを深め、自己肯定感を高める。	4.2	1人	4人				
4歳児	・生活に必要な基本的な生活習慣や言葉を身に付け、自分でできることに喜びを感じる。・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。	4.8	4人	1人				
3歳児	・基本的な生活習慣を身に付け、見通しを持ち活動できるようにする。・自分の思いを言葉で伝えたり相手の思いを知る中で、友達との関りを深め遊ぶことを楽しむ。	4.6	2人	1人				
2歳児	・保育教諭の仲立ちにより、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。・生活に必要な身の回りのことを自分で行う力をつけられるよう、年間を通して一緒に取り組む。	5	3人					
1歳児	・保育教諭に援助されながら、食事や衣服の着脱など基本的な生活習慣を身に付ける。・保育教諭の仲立ちにより、友達への関心を広げ、好きな遊びを楽しむ。	4.6	2人	1人				
0歳児	・生活リズムを整え、気持ちよく快適に過ごせるようにする。・生活や遊びの中で様々な経験をし、自分の思いを伝えることを楽しむ。 ・生活リズムを大切に安心感の中で心身共に豊かに過ごせるようにする。・生活や遊びを通して歩く、つまむ等の様々な動きができ、発語等意欲的に周囲へ働きかけようとする意欲が高まる。	5	3人					

【 項目ごとの分析・今後の取り組み内容について 】

評価項目	評価に対する分析	今後の取り組み課題
目標	<ul style="list-style-type: none"> 月のクラス便り等で知らせてはいるものの、どういった取り組みや活動が目標に結びついているのかが具体的に伝わり難いかもしれない。 クラス便りでの知らせ方として、月のねらいの横に、該当する園目標項目を記載しているだけでは印象に残り難いのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇クラス便りだけでなく毎日の配信便りでも目標内容について触れ、具体的な取り組みや活動・子どもの姿と”目標内容”がリンクしやすいよう、発信方法を工夫する。
説明責任	<ul style="list-style-type: none"> ・便りやアプリで情報を伝える事に加え、分かりづらい内容などは口頭説明も行った。 ・情報量の多さから分かりづらい部分があったかもしれない。 ・クラスによっては職員が一人に対応する時間帯もある為、口頭での聞きにくさがあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇引き続き、様子に応じて丁寧な伝え方を心掛けていく。 〇イラストや写真を添えたり要点をまとめる等工夫し、分かりやすい便り作りを行う。 〇アプリやノートなどを活用し、相談しやすい環境づくりを行う。
人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活での出来事は保護者の目が届かない為、判断し難い部分もあるかもしれない。 ・個々の成長や個性に応じた取り組みは、日々の会話の中で継続的に伝えていかなければ伝わりづらい。また、情報保護の観点(他児の事に関して、経緯を詳しく伝えられていない場面もある)から意図が伝わり難い点もあるのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇参観や懇談の機会に動画や写真を用いて話をする。 〇人権保護に関わる園内での取り組み内容について発信する。 〇日々のコミュニケーションを通じて保護者との信頼関係を築き、個々に対する取り組みについて知らせていく。 〇個人情報保護に配慮しつつも、可能な限り具体的な取り組み内容を共有する。
情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・書類等は職員室内で閲覧するよう徹底した。アプリなどもパスワード管理し外部に情報が漏れる事のないよう取り組めた。 ・保護者と児童の姿を共有する際には、内容に応じて場所や音量などに気を付けるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇今後も定期的に職員間での意識統一を行いながら、情報保護に努める。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の開催・他施設との情報交流も行った事で、近隣だけでなく様々な地域からの参加者を受け入れる事が出来た。 ・学生による体験学習・ボランティア・実習の受け入れを積極的に行った。また保護者への情報発信も出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇今後も継続していく。 〇園の取り組みを積極的に外部へ発信出来るよう、ホームページの定期更新・内容の充実化(定期的に園日より日々の便りを掲載)を図る。
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見には丁寧に対応するよう心掛けているが、保護者によって納得度や思いは異なる為、感じ方に差があったのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇園としての方針は一貫しながらも、保護者や児童の思いに十分寄り添いながら聞き取りを行っていく。
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示やアプリを用いて、情報発信する事が出来た。 ・クラスの感染状況など、把握出来た時点でアプリ配信する事で、最新の情報を伝えられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇今後も継続していく。
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の訓練を毎月実施していると共に、実施の度に内容を配信する事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 ”
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを用いた点検の実施や、不備があった際には必要に応じて業者に依頼し修繕するようにしているものの、そうした取り組みを保護者に発信できていない。 ・運営が、どういう内容を指すのか分かりづらいのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇修繕内容を職員間の共有でとどめず、アプリで保護者へも発信していく。 〇保護者会役員による振り返りを行う際に判断しやすいよう、項目に該当する具体例(保護者会会計や園舎内外の安全点検等)を記載する。
環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、昼、夕と園舎内の掃除を実施し、清掃箇所を決めて美化に努めた。また時期やイベントに合った飾りや壁面製作などで、季節感を出す事が出来た。 ・幼児クラスは子どもたちと共に整理整頓などを行っているが、物が出たままになっているなど、最終確認が不十分な事もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇日々の清掃・定期的な掃除の実施・季節感を意識した飾りつけや製作を継続していく。 〇環境に対しての目配り・気配りを職員一人ひとりが意識して行うようにし、清潔な環境づくりを心掛ける。(”大人の姿を子どもたちが模倣する”意識の再確認)
保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育室の環境の見直し・変更は行っていたものの、園全体や保護者への情報発信が出来ていなかった。 ・夕方などの自由時間に提供している玩具がやや固定化しがちで、年齢に合っていない玩具であると捉えられたのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇クラス便りなどを通して、園で行っている遊びや人気の玩具・保育室の環境等、写真を添えて知らせていく。また環境を変えた時にはクラス間に留めず、さくらんぼを通して全体発信も行う。(意図や工夫、実施した結果なども記載出来るとうい)
給食・おやつ	<ul style="list-style-type: none"> ・給食担当も児童と共に食事する中で実態把握に努め、それを活かして工夫して調理していた。行事食・新メニューの提供も積極的に実施していた。 ・展示食を用いて情報提供出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇今後も児童の実態に沿った調理の工夫に努める。 〇2025年度からはアプリ配信も実施し、展示・配信によって幅広く情報提供出来るようにしていく。(現在、実施に向けて調整中)

* 分析に関しては、良い面・改善が必要な面と、双方からの評価を基にまとめています。

* 改善が必要な部分は前述の目標を基に各自意識して取り組み、良い面は今後も続けていきます。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。